

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	16	事業名	商工会情報発信促進事業				戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会
担当部名	総務企画部		担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	津谷 康介	施策コード	8	施策名	情報発信強化戦略の策定・実施

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会活動を内外に発信していくことは、事業者のみならず行政や関係団体、一般住民に対して商工会の存在意義を高めることとなり、結果として会員のメリットにつながる重要な取組であることから、これまで以上に商工会の情報発信を強化していく。

2. 事業のねらい

商工会情報及び地域情報の収集・発信を効果的に行うために各商工会に広報担当職員を配置し、商工会の情報収集・発信スキルの向上を図り、商工会における情報発信力を強化する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30	B	R1	B	R2	B
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

広報担当職員等の情報リテラシー向上に向けた研修会及びコンテストの企画立案を行った。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

事務局総轄者の管理と責任のもとで情報発信を行う体制を整理するため、「商工会・県連における情報発信強化方針」の実態を検証し内容の見直しを行う。研修会や情報発信コンテストを通じて商工会職員の情報リテラシー向上を図るとともに、広報担当職員との連携を更に深める。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
35	商工会における情報収集・発信機能の強化	「情報発信アワード」を開催し、情報発信の好事例を全県商工会に共有した。	a	a	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	35					取組コード						取組コード					
指標名	情報発信コンテストの開催					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	-	-	-	1回	1回	目標						目標					
実績	-	-	-	0回	1回	実績						実績					
達成率	-	-	-	0回	100%	達成率						達成率					
達成度	-	-	-	c	a	達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈評価の理由〉

商工会・県連合会における情報発信強化方針に基づき、広報担当職員等の知識・スキル向上及び意識の醸成を図るため、「情報リテラシー向上研修会」等を開催し商工会組織全体の情報発信力を強化していく必要がある。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

「情報発信アワード」を開催し、情報発信の好事例を全県商工会に共有することで、商工会職員の情報リテラシーの向上を図った。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

令和2年度、令和3年度に「情報リテラシー向上研修会」を企画立案したものの、コロナ禍の影響により、開催には至らなかった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

B

「情報発信アワード」を開催し、情報発信の好事例を全県商工会に共有することで、商工会職員の情報リテラシーの向上を図った。県連会報やホームページなど、各種ツールを活用した情報発信力を高めることができた。

3. 課題

ホームページやFacebookページ「商工会あきた」に加え、時代に適した情報発信機能の強化が必要である。
職員の情報リテラシーを高めるとともに、商工会における情報発信体制を整備し、さらに情報発信力を強化する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

手軽な情報発信と事業者の情報獲得の利便性向上を目的とし、県連会報やホームページ、SNSに加えて、「商工会アプリ」など、デジタル技術を活かした新たな情報発信について研究開発を行う。